中央区立図書館調べかた案内Ｎｏ．７

『美術情報を調べる』

凡 例

・所蔵状況は 2026 年 5 月現在です。
・所蔵館略称　京：京橋図書館　日：日本橋図書館　月：月島図書館　晴：晴海図書館
・図書タイトルの下の情報は、（出版社/出版年/所蔵館略称名/請求記号）を表します。
・毎年出版される本や、各館で所蔵の版が異なるものは、出版年の表記をしていません。
・参考図書など一部貸出できない資料があります。館内でご利用ください。

１．手がかりとなる言葉

はじめに、自分が探している情報の手がかりとなる言葉を集めることが大切です。調べたい事柄から思い浮かぶ言葉をあげていきましょう。美術情報と言っても、「絵画」「美術史」「画家」「美術館」「彫刻」など、調べる対象はさまざまです。できるだけいろいろな角度から考えてみましょう。

（例）美術史について調べたい。

水墨画　大和絵　浮世絵　琳派　狩野派　水彩画　パステル画　油絵　蒔絵　螺鈿　デッサン
工芸　彫刻　錦絵　銅版画　ポスター画　ルネサンス　印象派　アールデコ　美術館

自分が知りたい情報に関連した言葉を書き出してみましょう。

２．参考図書から探す

図書館の本は日本十進分類法（NDC）に基づいて分野別に分類されています。１で考えた手がかりとなる言葉をもとに、検索機や参考図書などで調べていきます。

歴史・人物・事柄について調べるには

『日本の 20 世紀芸術』（平凡社　2014 年　京：R7021/ニ　晴：R702.1/ニ）
美術、版画、イラストレーション、写真、工芸、書など幅広いジャンルを年代別に解説。

『世界芸術家辞典』（エム・エフ・ジー　京：R7033/セ　日：R7033）
世界の芸術家を 50 音順に網羅。絵画、書、工芸、彫刻、現代アートなど。

『世界美術家大全』（日東書院本社　2015 年　京：R7028/カ　晴：Y702.8/カ）
古代から現代までの美術を年代別に区切り、作家や代表的作品を紹介。

『和英対照日本美術用語辞典』（東京美術　京：R7033/ワ　月：R7033/ニ）
日本美術を理解する上で必要な専門用語 4,300 項目を収録。和文・英文併記で構成。

『日本美術史年表』（京：R7021/ミ　日：R7021）
日本美術史研究の第一人者である源豊宗による日本史年表。

『人間国宝事典　工芸技術編』（芸艸堂　京・月：R7091/ニ）
工芸技術部門で人間国宝に認定された保持者の技術詳細、経歴と作風や代表作を解説。

作品を探すには

『日本美術作品レファレンス事典［第 1 期］～第 3 期　絵画篇』

（日外アソシエーツ　京：R7021/ニ　日・月：R7021）

作品名から、その図版がどの全集に収録されているか検索できる。

『美術作品レファレンス事典　人物・肖像篇』（全 3 巻）（日外アソシエーツ　2007～2017 年　月：R7031/ヒ）

主要な美術全集に掲載されている人物画、肖像画、人物彫刻をモデルとなった人物の名前から検索できる索引事典。

『美術品所蔵レファレンス事典　西洋絵画篇』（日外アソシエーツ　2017 年　京：R703.1/ヒ）

戦後に国内で刊行された全集・作品集に掲載されている西洋絵画作品を、作家別に検索できる図版索引。作品 27,194 点の所蔵情報が収録されている。

『国宝事典』（便利堂　2019 年　京・日・月：R7091/コ　晴：R709.1/コ）

平成 30 年 11 月 1 日現在、国宝に指定されている美術工芸品、建造物 1,115 件を解説。

動向を調べるには

『美術年鑑』（美術年鑑社　京：R705.9/ヒ/年鑑　日：R7059/ヒ）

美術界各分野の作家名鑑、美術界の動向や訃報、また美術館や博物館、画廊等のデータも収録。

『日本美術年鑑』（中央公論美術出版　京：R702.1/ニ/年鑑　晴：R702.1/ニ）

日本美術界の 1 年間の動向について、基本資料を収集整理した上で 4 項目に分けて記載。

『最新美術・デザイン賞事典』（日外アソシエーツ　京：R7036/サ）

国内の美術・デザイン分野の賞や公募展・コンペティション等 288 賞を収録した事典。

『美術名典』（芸術新聞社　月：R7035/ヒ）

日本画、洋画、工芸、書などの分野別に作家データを収録。

３．一般図書から探す

美術史を調べるには

『1 冊でわかる美術史のきほん』（秀学社　2019 年　日・月：7020/イ　晴：702/イ）

日本と西洋の美術史を時代ごとに図版とわかりやすい文章で解説。

『現代美術史』（中央公論新社　2019 年　京：S702/ヤ　日：7020/ヤ）

現代美術を第二次世界大戦後の社会との関わりから解説・意義づける、現代アートの入門書。

『入門日本美術史』（筑摩書房　2024 年　京：S702.1/ヤ　日・月：7021/ヤ）

日本美術史の知識について、カラー図版で紹介。

『大学 4 年間の西洋美術史が 10 時間でざっと学べる』（KADOKAWA　2020 年　日：7023/イ　晴：702.3/イ）

1 項目につき見開き 2 ページで、西洋美術史について図版とともに解説。

『図説名画の歴史』（河出書房新社　2019 年　京・日：7230/ニ　晴：723/ニ、Y723/ニ）

各時代の美術の要点と名画の意味、鑑賞と理解の要点などを豊富な図版とともに解説。

作品を調べるには

『日本美術全集』（全 20 巻＋索引）（小学館　2012～2016 年　京：7080/ニ　晴：708.7/ツ）※館内閲覧のみ

古墳時代の石器から現代美術まで、日本文化に精通する専門家による解説とともに紹介。

『47 都道府県・国宝/重要文化財百科』（丸善出版　2018 年　京・日・月：7091/モ　晴：709.1/モ）

都道府県別の国宝及び重要文化財の基礎知識が網羅された本。美術品名・建造物名索引もある。

『国宝クラス仏をさがせ！』（新潮社　2024 年　京・晴：718/セ　日・月：7180/セ）
日本各地に存在する、いずれは国宝になるかもしれないすぐれた仏像を、美しい写真と解説で紹介。

美術館に行くには

『建築でめぐる日本の美術館』（G.B.　2020 年　京：706.9/ト　日：5267/ト　月：7069/ト　晴：526.7/ト）
建築もアートとして鑑賞できる名建築美術館 90 館をオールカラーで紹介。

『作家別あの名画に会える美術館ガイド　江戸絵画篇』（講談社　2017 年　京・日：7204/カ）
作家名からその作家の作品を所蔵する美術館を探せるガイド。江戸絵画の流れもわかる。

『企画展だけじゃもったいない日本の美術館めぐり』（G.B.　2018 年　京・月：7069/ウ　晴：706.9/ウ）
日本の美術館 102 館を、各館の常設展で見ることができる代表作品とともに紹介。

『美術館へ行こう』（新潮社　2018 年　京・日・月：7069/イ）
北海道から鹿児島まで居心地のよい 24 の美術館を案内。展示を観た後にひと息つけるカフェも紹介。

『日本の美術館で見たい世界の名画と日本の名品 100』（ぴあ　2019 年　日・月：7204/ニ）
日本の美術館で見られる名画と名品を豊富な図版で 100 点紹介。

『東京美術館案内』（昭文社　2017 年　京・日・月：7069/ト）
個性豊かな東京&東京近郊の美術館やミュージアムをエリア別に案内。アートめぐりに最適な一冊。

『東京 MUSEUM GUIDE』（朝日新聞出版　2025 年　京：A706.9/ト/ミュージアム　日・月：7069/ト　晴：706.9/ト）
東京都内にある有名美術館からアートギャラリーまで約 100 軒を紹介。

『パリの美術散歩ノート』（誠文堂新光社　2026 年　京・晴：706.9/モ　日・月：7069/モ）
美術史を時代ごとに分け、パリの美術館やその収蔵品をめぐる 7 日間のプランを提案。周辺の観光地やカフェなどの情報も掲載。

※検索機で特定の本を探すだけではなく、実際に関連図書がある棚に足を運び、手にとって見ることは、書名や検索機の情報だけではわからない図書を見つけることができ、大変有効です。

４．新聞・雑誌記事から探す

◆中央区立図書館では、美術に関する次の雑誌を所蔵しています。

- **『芸術新潮』**（京・日・月・晴：１年保存）
- **『月刊美術』**（京：３年保存）
- **『美術手帖』**（京・日・晴：３年保存）
- **『ILLUSTRATION』**（京・晴：３年保存）
- **『一枚の繪』**（月：１年保存）
- **『目の眼』**（京：３年保存）
- **『墨』**（月：１年保存）

※美術に関する雑誌以外でも、特集で取り上げていることがあります。検索機で特集名から検索することもできます。（月刊誌・一部週刊誌）

◆新聞縮刷版

京　橋：朝日、読売、日経、毎日
日本橋：毎日
月　島：朝日
晴　海：読売

※各新聞の書評や新刊案内などから、読みたい本を探すこともできます。

５．インターネットから探す

図書や雑誌だけでは網羅できない新しい情報を探すときに有効です。

	タイトル／作成者	URL	QR
1	国立美術館 所蔵作品総合目録検索システム／独立行政法人国立美術館	http://search.artmuseums.go.jp/	
	5 つの国立美術館（東京国立近代美術館、国立工芸館、京都国立近代美術館、国立西洋美術館、国立国際美術館）で所蔵する作品の情報、作品の来歴、展覧会出品歴、参考文献などを公開。		
2	美術図書館横断検索／美術図書館連絡会	https://alc.opac.jp/	
	美術図書館連絡会（ALC）加盟館の蔵書の横断検索が可能。		
3	ジャパンサーチ／国立国会図書館	https://jpsearch.go.jp/	
	様々な分野のデジタルアーカイブと連携しており、多様なコンテンツの検索・閲覧・活用ができる。		

☆ご注意☆
ここでご紹介した資料はごく一部です。探している資料が見つからないなどご質問がございましたら、レファレンスカウンターにお尋ねください。ただし、資料に関する相談に限ります。